



「むかしのあそび」体験しました！ うまくできました！！

1ねんせい
1月27日(金)

早いもので、もうすぐ2年生。下級生も入ってきて、誰もがおいさん、おねえさんになります。昔の年齢の数え方ではありませんが、年が明けたら、急にしっかりしてきたように感じます。

去る1月27日(金)、ボランティアの皆さんのご協力により、1年生は、生活科の授業で「むかしあそび」の活動を行いました。

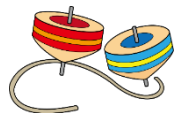
① お手玉 ② あやとり ③ こま回し ④ 竹馬
の4つの遊びを体験しました。

ふだんは、電子ゲームや市販の玩具で遊ぶ機会も多いとは思われますが、手作りでもあり工夫次第で遊び方も豊富な、むかしあそびに親しみ体験することができました。

やり方やコツを少し教えてもらっただけで、自分の力でどんどん上達していく子どもたくさん出てきていました。遊びの幅も広がり、応用を利かせたり工夫を凝らしたりする心も大きく養われました。

意外かもしれませんが、竹馬でのバランス感覚やこまの回し方なども、かなり器用で優れていたようにも思いました。「マイあやとり」や手作りお手玉がしばらく流行っていくかもしれませんね。

技量も高く、地区に応じた伝統的な遊びを熟知している地域の方々協力してくださる、福沢地区ならではの授業実践だったと思います。



ご協力をいただいた皆様、どうもありがとうございました。



インフルエンザ予防に ご留意ください！

県内では、冬休み明けから“警報レベル”が続いています(1/27現在)。本校でもそうですが、市内の他の小学校からも、学級閉鎖の情報が届いています。中学校では、これからの高校受験シーズンと重なり、気が気でないかもしれません。

まずは、自ら出来る限りの予防を実践していきましょう。予防接種も効果的ですし、たんぱく質やビタミン類のバランスのよい摂取、疲れやストレスを残さない体調管理など、普段からの心がけももちろん有効な手段です。



予防対策Ⅰ

・「マスク着用」、「手洗い、うがいの徹底」などにより、自分の中にウイルスが入り込まないよう、徹底的にガードする！

インフルエンザの感染経路は、

① 飛沫感染

- ・感染者の飛沫と一緒に、ウイルスが放出される
- ・別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染してしまう



② 接触感染

- ・感染者の咳やくしゃみでウイルスが手などに付く
- ・その手で触れた物に、ウイルスが付く
- ・別の人がその物に触れ、手などに付いたウイルスが、口や鼻の粘膜を経由して感染してしまう



の二つ これらの経路を立つことが大事！

予防対策Ⅱ

・「50~60%の湿度を保つ」ことにより、のど粘膜の防御機能を保持し、湿度が苦手なウイルスの増殖を抑える！

大豆つ・な・がり 今度は5年生！ 家庭科 ゲストティーチャー 味噌醸造業 加藤 篤 さん



1月25日(水)
視聴覚室

まだまだ寒い日が続き、一杯の味噌汁のおいしさとありがたさを度々味わう日が続いています。12月に3年生は「総合的な学習の時間」で、大豆についてまとめました。今回5年生の家庭科の授業では、県内でも数少ないのですが、味噌醸造業に携わっていらっしゃる、小田原市にある加藤兵太郎商店の加藤篤副代表にお越しいただき、麴や味噌について学びました。

味噌は健康面でもその効果が科学的に証明されているそうで、日本古来の食文化には勿論、世界からも“miso soup”として注目を浴びています。



さらに、加藤さんは「味噌の素晴らしさに、子どもの頃からもっと親しんでもらいたいと思います。

自分が生まれ育った家業を継ぐ決心をした時には、周囲から本当に喜ばれました。大手メーカーのような大量生産は出来ませんが、みんなに喜ばれる仕事をこれからも続けていきたいです。」と、熱く力強く語ってくれました。いいお話しに、得るものが大きかったです。



味噌は大きく分けて三種類

- ①米味噌(流通の多くはこれ)
- ②麦味噌(九州方面に多い)
- ③豆味噌(中京方面に多い)

味噌の塩分は気にしないでOK

・具の塩分には留意しましょう!

味噌汁1杯分の味噌の適量は?

・塩分が味噌の種類(赤味噌:多、白味噌:少)で多少違いますが12~15gがベスト!

味噌汁に合う出汁は?

・好みでOKですが、基本は「鰹節」ですかね……!



味噌汁におすすめの具は?

・定番の具は、科学的にも評価されています!

(例: 味噌汁+わかめ=体内塩分排出効果有り!)

今年度最後の授業参観&学級懇談会 2月14日(火)

1~3年 13:30~
4~6年 14:20~



平成28年度も押し詰まってきました。今年度も集金時の御協力を賜るなど、いろいろとありがとうございました。今年度最後の授業参観と学級懇談会を2月14日(火)に予定しています。一年間の成長をあらためて確認していただき、進級学年への期待や気かけ等を共有できればと考えています。

地域の方々や新入学予定児童の保護者の方々の参観も可能です。来校をお待ちします。

季節のたより

福沢地区では風物詩である「梅」の花が見事な季節になってきました。福沢小の校歌にも「梅咲く里」としては登場しますが、梅といえば「鶯(うぐいす)」をついつい想像してしまいませんか。“美しく調和して取り合わせのよいもの”の代名詞として「梅に鶯」という言葉があります。実際には、梅の木や枝によく止まる鳥は「メジロ」であり、鶯ではないのだそうですが、“絵になる取り合わせ”として、初春にふさわしい光景に数えられ馴染まれています。

福沢小学校にすっかり馴染んだ1年生も、もうすぐ2年生なり、先輩として下級生の面倒を見てあげる立場になります。6年生は、板についた福沢小児童を卒業し、まだぎこちない制服姿に身を包み、新たな中学校生徒という未知の世界へ飛び込んでいくのも頼もしい姿ですね。

福沢小学校の増築校舎の外観も、四季が一周過ぎて、ようやく地区に馴染んできたようにも思われます。梅や春めき桜によって福沢地区が美しく彩られる季節が、また巡ってくるのです。福沢地区には花が似合います。福沢小にもお似合いで絵になる児童たちの笑顔が、間もなくまた勢ぞろいすることでしょう。(担当)

